

小中学生と乳幼児を結ぶファシリテーター養成研修 ～地域子育て支援の連携を目指して

特定非営利活動法人 次世代サポート

〒215-0053 東京都渋谷区代々木1丁目58番16号 清水ビル4階

助成事業の概要

本事業の実施目的は、この講座を受講することを通して、小・中学生と乳幼児を結ぶファシリテーターの役割について学ぶこと、ロールプレイを行い自らファシリテーターの役割を体験することで、自身の学びと社会的意義の両面から、赤ちゃんとのふれあい事業の果たす効果に気づくことにある。

開催時期は、集合研修を8月3日・29日、9月10日の3回にわたって行い、参加者は延べ207人であった。集合研修の内容は、寺田清美氏による「ファシリテーターの役割」に関する講義が1時間行われた後、ロールプレイが1時間行われた。参加者全員にアンケートを行い、集計分析した。有料の講座を2回開催する予定であったが、3回とも無料のフォローアップ講座とした。

11月27日、環境福祉学会2016年度総会公開講座においてブースを設け、本事業の成果をビデオ、ポスターによって発表した。

事業の成果

本集合研修「小・中学生と乳幼児を結ぶファシリテーター養成研修事業」は、8月～9月の3回の研修において、延べ207人が参加した。

内訳は50・60代を中心に幅広い年代層からの参加者があり、学生は10代が35人、20代が5人であった。

講座に参加した方からのアンケート結果によると、学生たちからは、ファシリテーターとい

う存在の意義や重要性とともに、乳幼児やその母親に対する理解や関心が深まったという感想が多く見られた。保育を学ぶ学生として、授業での学びを再確認したり、親子や保育者に実際に接してより実践的に相手のことを知りたいといった意欲を高めたりしている様子も窺われた。

一般の参加者からは、本講座を通じて生命の大切さや自分も同じように大切にされてきたのだということを知ってほしいという意見が多数あり、本講座が学生や子どもたちの成長につながることに對する強い期待が感じられた。

また、ロールプレイについても、その難しさを指摘する一方で、それによって自らの気づきや学びが得られたことも多く報告されていた。

母親への影響については、学生・一般参加者ともに様々な側面からの肯定的な影響が挙げられ、その内容についても、母親の不安軽減や孤立防止、子育てに対する楽しさや意欲の向上など、共通するものも多く見られた。

全体を通して、参加者は自身の学びと社会的意義の両面から、本講座の実施および参加を肯定的に捉えていることが示された。さらに、今後もさらに学びたいという意見も学生・一般参加者双方に見られた。

受講生は、今後関わる小中学生は赤ちゃんに触れ合うことの楽しさや命の大切さを知り、子どもを産み育てたいと思う感情が高まり少子化への歯止めと子どもを見守る地域連携の輪が予想される。

今回、本研修以後も多くの方からの参加希望や内閣府少子化対策担当企画官や読賣新聞記者、福

社新聞記者からの問い合わせや取材を受けた。

このことは本事業のテーマや内容が先駆的要素を含んでおりパイロット性のあることが提示されたと感じる。

■ 成果の広報・公表

環境福祉学会年次大会（2016年11月）主婦会館にて本研修事業を展示公開したブースに 内閣府子ども・子育て本部少子化対策担当企画官吉田氏が視察に来られたことがきっかけとなり、2017年地域少子化対策重点推進交付金5.7億円に「乳幼児との触れ合い体験」が計上され、本事業の様子が「乳幼児触れ合い体験関連資料」の中で紹介された（資料参照p3～6）。その資料は、全国の自治体に配布された。

佐世保・東広島・神戸・世田谷・他多くの自治体からも問い合わせをいただいている。本事業の成果が全国の自治体の子ども関連の部署に広報されたといえる。

今後は、保育関連学会・環境福祉学会・学術雑誌に成果を論文としてまとめ、投稿するとともに、保育所職員や幼保連携認定こども園職員・児童館職員・子育て支援センター職員等に参考になるような講演や研修会を実施し伝えていく。

■ 今後の展開

本集合研修「小・中学生と乳幼児を結ぶファシリテーター養成研修」受講終了生に2017年に実施する小・中学生と乳幼児とのふれあい授業に参加頂く。

その経験を活かしてロールプレイなど振り返り研修会を実施する。また参加者からの意見をまとめテキストを作成する。

テキストは参加者や子育て支援者・児童生徒に

も活用できるようQ&Aを盛り込み分かりやすい内容になるよう工夫する。

また、そのテキストを協力自治体・保育施設・サロン及び関係者などに配布する。

今後予定されている保育士やあかちゃんとふれあいサポーター対象研修の中で当研究の報告会を実施する。

さらに、保育者養成校教員や子育てNPO・サロンスタッフに向けても報告説明会を実施し、地域拠点子育て支援事業活動のひとつとして、ファシリテーターの役割について理解と重要性を広めていく。